

平成30年度上天草市青少年人材育成海外派遣事業研修に参加して

私がこのホームステイに参加して印象に残ったイベントはどれも楽しかったですが、特に Full Day Trip というのが楽しかったです。Full Day Trip とは、1日中どこかに出かける日のことです。私はその中でも Microsoft と滝とショッピングに行ったことが楽しかったです。世界一お金持ちの会社“Microsoft”に行きました。私たちはお買い物とゲームをしました。もともとお買い物大好きなのでとても楽しかったし、他には売っていないようなものばかりだったので楽しかったです。そのあと滝を見に行きました。とても大きく迫力があって感動しました。ショッピングでは友達とまわりました。大きなショッピングモールだったので楽しかったです。観光で普通に楽しくても、その中で少しずつみんなと仲良くなっていくことができたので良かったです。普通の授業の時間で学ぶことはたくさんありました。例えばアメリカの授業は日本の話を聞くだけではなく、先生方と一緒に授業を作っていく。そのためにわからないことはすぐ手を挙げて発表したり、どんどん Try していくということを頑張りました。

日本とアメリカは多くのことが違いました。例えば食文化でいえば、昼食は家庭で色々違うけど私が行った家は、サンドウィッチとスナック菓子でした。最初はとてもおどろきました。日本ではご飯かサンドウィッチとおかずやフルーツですが、アメリカはサンドウィッチとスナック菓子、それに時々丸ごとフルーツなどとてもおどろきました。生活面では毎日洗濯をしないとイケないことや、TVは普通のニュースなどよりもインターネットにつないでYouTubeなどを見ること、田舎に行けば行くほど信号機よりSTOPの数が多い、1つの家の敷地がとても広い、飼っている動物が多い、キャンピングカーを持っている家が日本よりも多い、、、などとても多くのことが違いました。けれど何もかも日本では味わえないことばかりでとてもいい経験になりました。

アメリカ人と日本人にも違いがありました。例えば、アメリカ人は時間にルーズな人もいればそうでない人もいます。けれど、日本人はみんな時間をしっかり守ります。ここはそれぞれ良い点があるので、昔からの宗教や文化の違いを感じました。

私はこの経験をもとに学校や地域でガレッジセールを行ったらどうだろうかと考えました。理由は私はこのホームステイでガレッジセールを行いました。みんなで不要な物やお菓子を持ち寄って、自分たちで値段を決め、“Bake Sale!”と宣伝しながら学校前を通った人たちに買ってもらうというものです。そのお金は日本にホームステイに来る人たちの資金になるそうです。なかなか止まってもらえず大変だったけど、お辞儀をしてくれたり、止まって“どこでやってる?”など聞かれたり、買ってもらえたりした時は、とてもうれしかったしやりがいを感じました。学校で行うと仕事の大変さとやりがいを学べて、地域で行うともっと地域の中で仲良くなることのできるのではないかと思ったからです。

これは私の中でどちらも大切なことではいかと考えました。仕事の大変さとやりがいは将来必ず学ぶことだし、地域の中で仲が良くなると、災害が起こった時などにみんなで協力することができるのではないのでしょうか。

そしてこの集まったお金も上天草市に寄付することができるため、五橋祭など大きな行事に使うことができるのではないかと考えたからです。

今回はとてもいい経験をさせていただきありがとうございました。ホームステイでしか学べないことや、沢山の経験をすることができました。この経験をもとに学校で友達にアメリカのことを話したりして少しでもアメリカと日本の架け橋になれるよう頑張ります。私の国際関係もとても広がりとてもいい思い出となりました。

本当にありがとうございます。

平成30年度上天草市青少年人材育成海外派遣事業研修に参加して

私が印象に残っていることは、まず、初めにアメリカに到着した時のことです。初めて、アメリカに到着した時は、やっと憧れのアメリカに来ることができた喜びとちゃんと会話できるのかという不安でいっぱいでした。周りを見渡すと英語ばかり、外国人ばかりでとても緊張したことを覚えています。そこで初めて、ネイティブの人に話しかけられておどおどしていたのが印象に残っています。

そして次に印象に残っている事は、ホストファミリーと初めて会った時のことです。私は、アメリカに着いた日にホストファミリーが変わるというハプニングがありました。その時はすごく驚きましたが、その翌日、新しいホストファミリーに会ってすごく安心したことを覚えています。私のホストマザーは、シングルマザーでした。しかしとても優しく、強い女性でした。ホストマザーの姿はすごく印象に残っています。

ホームステイ期間中たくさんの日本とアメリカの違いを感じました。1番違いを感じた事は人間性です。アメリカの方々はすごくフレンドリーな人が多かったです。お店のレジでも必ず会話して、日本語で話しかけてくれる人もいました。皆さんすごく気さくに話しかけてくださってとても嬉しかったです。

ホストファミリーに上天草市のことを話すと、すごく目を輝かせていました。だからきっと外国人の方々もきれいな海、おいしいお魚などに興味があるんだと思います。だからこの体験で学んだ事を外国人とのコミュニケーションなどいろんなことに活かすことができると思います。

この研修には多くの方々の協力があって参加することができたと思います。感謝の気持ちを忘れずにたいです。

平成30年度上天草市青少年人材育成海外派遣事業研修に参加して

私は、このホームステイに参加して、さらに外国に興味を持ちました。アメリカで過ごした約3週間に毎日驚きと発見でとても新鮮であったという間でした。

私は、日本とアメリカの違いをたくさん見つけることができました。特に印象に残っていることは、食の違いです。アメリカの食べ物は高カロリーなものがとても多く量も多かったです。

例えば、お店で最初に出てくるお冷も日本でいうLサイズだし、ハンバーガーを頼むと必ずフライドポテトかポテトチップスがついてきます。一度「フライドポテトはいらない」と言ってハンバーガーを頼んだ時、ホストファミリーに「ハンバーガーだけの!？」とすごく驚かれ、こちらもハンバーガーにポテトはそんなに当たり前なのか、、、と驚きました。

また、チーズやバターが大好きで、毎日大量に料理に使っていました。私はホストファミリーと一緒に料理をしていました。普段の料理から高カロリーなものが多いけれど、私が特に驚いたのはお菓子です。アメリカについた日の夜にホストマザーとチョコチップクッキーを作りました。バターや砂糖の量にも驚いたけれど、一番は、焼く前のクッキー生地を食べたことです。アメリカ人は、「焼く前のクッキー生地が大好きなんだ。」とホストマザーが言っていました。日本では絶対食べないものだなと思いました。

次に印象に残ったことは、夫婦など男女間の関係です。アメリカの夫婦はとても仲良く、手をつないでいたり、家に帰ってきたときのキスは当たり前のようなようでした。

また、ドアはほぼ全て男性が開けてくれるので、ホストマザーが開けるドアはバスルームか冷蔵庫のドアくらいしかないのでは、というくらいでした。日本では、手をつないでいたりする夫婦は見かけないし、ドアも自分で開けているので違うなあと思いました。でも、私が憧れる理想の夫婦像だなと思いました。

アメリカでの生活は、毎日すごく充実した楽しいものでした。そして、その一番の理由は、ホストファミリーでした。アメリカはいく前の不安は、“ホストファミリーとうまくやっていけるか”だったけれど、ホストファザーもホストマザーもすごく優しく迎えてくれて、とても安心しました。

学校から帰るときや、週末、一緒に料理をする時間がとても好きでホストファミリーと過ごす時間が一番でした。

しかし、自分の英語力が乏しく伝えきれなかった事も多々ありました。もっと英語を話せるようになりたいととても思いました。

またいつかホストファミリーと会えた時に今度こそ不自由なく自分の気持ちを伝えられるようにこれからもっと英語を勉強したいと思います。

私は普通の旅行では体験できなかったことを沢山体験できたと思います。何もかもが初めてで、あっという間の3週間でした。自分がアメリカで得たことをこれからの生活に役立てることができるようにしていきたいと思いました。